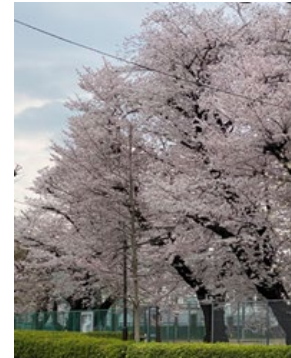


## 今月のことば



私の家の近所、代々木八幡神社の敷地内に福泉寺という天台宗の寺院がある。昨年12月には寺院の門の脇に『口が濁れば愚痴となり、徳が濁れば毒となる』という詞が貼られていた。これを見た瞬間に、私の母校、ある基督教の学校の校訓『徳においては純真に、義務においては堅実に』が蘇ってきて、天台宗と基督教が心の中でドッキングした。子供の時には、「徳」や「義務」という詞が常に身近にあったのだが、日々の生活の中で置き去りにしていたことが恥ずかしい。改めて、「徳」と「義務」を心に銘じ、さわやかに、そして、やるべきことを誠実にやりぬく強さを持ちたいと感じた。

(中西千春)



## 目次

## 【4月例会速報】

- ・山崎 勝「CLIL・協調学習とオーラルメソッド」

## 【教師冥利に尽きるちょっといい話】

- ・津田ひろみ「元教え子と20年を経て感動の再会」

# CLIL・協調学習とオーラルメソッド

山崎 勝

埼玉県立和光国際高等学校

## 【要旨】

CLILは、いわば、教育理念であり、特定の教授法に縛られるものではないので、自分なりの方法を持たないと実践は容易ではない。一方、「知識構成型ジグソー法による協調学習」（三宅ほなみ他，2016）は、型の意味を理解していないと、言語活動の指導が容易ではない。そこで、本発表では、伝統的な英語教授法である「オーラルメソッド」を基礎に、CLILと「協調学習」の授業手順を概観し、授業の各段階における活動の意義と関連について整理したい。

## 【発表を終えて】

伝統的な教授法とアクティブラーニングは別物ではなく親和性が高いと改めて思った。両者を対照することで、従来の授業のどの部分を強化して発展させればよいか明らかになり、従来の教授法の理に適った指導手順と指導技術がアクティブラーニングを実践する下支えになると思った。

## 【パワーポイント資料 PDF】



CLIL、協調学習と  
オーラルメソッド.pdf



異文化理解-Japan  
eseClassicalEssays

## 【発表を聴いて】

### ○コメント：慶山豊治（BRCP）

山崎先生のご発表で特に興味をひかれたのはオーラルメソッドの手順の部分や、適切な教材を使っているというところでした。また書くというスキルは話が出来ないと無理だという当たり前の事ですが、この手順をきちっとやることで書くことも話す事も可能になるのだと改めて実感しました。これは今留学をしている大学生に少し欠けている点と思いました。

### ○コメント：中西千春（国立音楽大学）

山崎先生の授業は 高校の「英語」科目を越えて、他の科目の学習「内容」と結び付いている。生徒たちは、まず、テキストと向き合い、それを他者へ伝える活動の中で思考が促され、深い学びへと誘われていた。CLIL、協調学習、オーラルメソッドの利点を凝縮し、さらに、スパイスを加えた山崎先生独自の試みが生徒にも、教師にも大きな刺激となる。

## 元教え子と 20 年を経て感動の再会

津田ひろみ  
(明治大学)

先日、元生徒から嬉しい連絡がありました。その生徒は中学1・2年生のとき私の「帰国子女クラス（週1コマ）」にいた生徒でした。彼のFBへの投稿で、アメリカの医師免許を取得し夏前には渡航する予定であることを知り、すぐにお祝いのメッセージを送ったところ、渡航前に会いたいと連絡をくれたのです。彼はもう30歳台、2児のパパ。つまり、中学校で担当してから20年振りの再会です！そうそう、5～6年前に一度会いました。朝の通勤時にたまたま横を歩いていたのです。「え～！」と言いながらもすぐにお互いを認識できたのは驚きでした（笑）。それがきっかけとなってFBで繋がり、彼がコロナ禍の中で医師として活躍していることは知っていましたが、アメリカの医師免許を取ってしまうとは驚きでした。教師にとって元教え子の活躍は本当に嬉しいものです。

その日は、感染対策を完璧にしてご家族も交えて会うことができました。比較のおとなしい「帰国子女」だった彼が、立派な医師になり、優しいパパになってステキな家庭を築いていました。奥さんとは初対面にも拘わらずすっかり打ち解けておしゃべりし、可愛い子どもたちも（なぜか）なついてくれて、「ばあば」対応を満喫させてもらいました。

コロナ禍でもこんな温かな出会いを作ってくれた元教え子に心から感謝！そして、20年経ってもすーっと昔に戻れる関係を築いてくれた「教師」という職業のすばらしさを噛み締めたひとときでした。

### ○コメント

川崎清（文京学院大学名誉教授）

とても心温まるエピソードで色々想像しながら読みました。帰国子女として授業を受けていたとき、どのような期待を授業に寄せていたのか。津田先生はその期待をどう受け止め、応えようとしていたのか。恐らく、この期待とそれへの応答がうまくかみ合って、卒業後も相互によい印象を持ち合って、良好な関係が継続できていたのだらうと思いました。

## 近刊情報および学会発表

近々のご著書の出版予定，あるいは学会発表のご予定がありましたら，情報をお寄せください。

### 【学会発表情報】

- ・ 日本実用英語学会・第 195 回研究発表会
- ・ 日時 : 5 月 21 日 (土) 14:00~17:00
- ・ 場所 : 早稲田大学 11 号館
- ・ 内容 : 「The University of 地名」の大学名称を中心として
- ・ 発表者 : 川崎清 (文京学院大学名誉教授・国際教育研究所会員)
- ・ 参加費 : 2,000 円
- ・ 問合せ : メール [japeoffice@list.waseda.jp](mailto:japeoffice@list.waseda.jp)

### 【出版情報】

- ・ 著書名 : 「教師のための教育効果を高めるマインドフレーム」  
10 Mindframes for Visible Learning: Teaching for Success
- ・ 著者名 : ジョン・ハッティ, クラウス・チーラー著  
(原田信之, 矢田尚也, 宇都宮明子, 津田ひろみ 共訳)
- ・ 発行年 : 2021 年
- ・ 出版社 : 北大路書房
- ・ 価格 : 2,700 円 + 税

## 紀要投稿募集要項

(\*現在, 原稿の募集は行っておりません)

本研究所では, 広く皆さまからの原稿を募集いたします。ふるってご応募ください。皆様からの玉稿をお待ちしています。

- ◇ 紀要に投稿ご希望の方は HP 上の「刊行物」のプルダウンから「紀要投稿申請フォーム」の google forms に 12 月 25 日までに必要事項をご記入の上, お申込みください。
- ◇ 紀要投稿募集要項詳細については本研究会 HP の, 「刊行物」にある「2022 年度 紀要投稿規定」をご覧ください。
- ◇ 原稿締め切りは 2 月 20 日です。
- ◇ 紀要は 3 月 31 日発行予定です。